

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 3年 10 月 1 日

設置・運営主体	上尾市		
設置主体	上尾市		
経営主体	上尾市		
事業所名 (施設名)	上尾市立大石保育所	種別	保育所
所在地	〒 3 6 2 - 0 0 6 2 上尾市泉台 2 - 1 4 - 1 1		
電 話	048-775-2553		
FAX	048-775-3082		
Email	s174200@city.ageo.lg.jp		
U R L	https://www.city.ageo.lg.jp/page/117117060102-1-7.html		
施設長氏名	石島 幸子		
調査対応担当者	石島 幸子 (所属、職名：大石保育所、所長)		
利用定員	60 名	開設年	昭和 49 年 5 月 1 日
理念・基本方針			
<p>理念</p> <p>1 すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。 2 すべての児童の生活をひとしく保障し愛護する。 3 保護者とともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。</p> <p>基本方針</p> <p>1 乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。 2 子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。 3 養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 4 保護者と密接な関係を取、保育の内容等が保護者の理解と協力が得られるよう努め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。 5 地域における子育て支援のために、乳幼児期などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	平日 7 : 0 0 ~ 1 9 : 0 0 土曜日 7 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児					
1歳児	10	10	1		
2歳児	10	12	1		
3歳児	10	19	1		
4歳児	15	19	1		
5歳児	15	20	1		
計	60	80	5	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		17人			
うち	保育士	16人	保健師・看護師	人	
	栄養士・調理員	1人	その他（	）人	
非常勤職員数		9人	（常勤換算	4.9人）	
うち	保育士	5人	（常勤換算	2.5人）	
	保健師・看護師	人	（常勤換算	人）	
	栄養士・調理員	3人	（常勤換算	1.9人）	
	その他（	）	1人	（常勤換算	0.5人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。					
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	2人	非常勤：	0人
	退職	常勤：	1人	非常勤：	0人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		38.8歳（37.8歳）			
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		3.5年（3.7年）			
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。					

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	467,30	m ²
	児童1人あたり 7,78	m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1409,22	m ²
	児童1人あたり 23,48	m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火 <input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ	
(4) 建築(含大改築)年	昭和	49年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・意見箱を設置している。
- ・苦情解決第三者委員制度を取り入れている。
- ・懇談会、個別懇談会、保育参加を呼びかけて、保育所での様子や生活を理解していただき、感想や意見を聞く機会を作っている。
- ・行事後にアンケート調査を行い、意見・感想を全職員で共有し、改善できるところは次年度に反映させている。
- ・日頃から職員ひとり一人が挨拶や声掛けをを行い、コミュニケーションを図るようにしている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・緑豊かな地域にあり、四季を感じられる散歩コースに恵まれているので、自然物に触れる機会が多く、興味関心が持てるように取り組んでいる。
- ・園庭には大きな桜の木があり、春はお花見、夏は木陰で水遊びや蝉取り、秋は落ち葉で遊びや製作を楽しんでいる。
- ・近くに畑があり、5歳児を中心に食育活動に取り組み、収穫の喜びを味わっている。
- ・運動会には近隣の敬老会の皆様を招待し、パン食い競争や玉入れに参加していただいている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

2 回 (平成 27 年度)